

伴奏講座

1泊2日

第8弾、好評のうちに終わる

日にち：2月5日(土)～6日(日) 会場：川崎市民プラザ

■前号は講座内容の報告でした。今回は質問や参加された方から寄せられた感想の中から紹介します。

□ 関東アコ主催の伴奏講座に参加しました。川崎市の市民プラザですが、南武線を利用すれば、アコーディオンを担いででもそれほど大変な道のりではありませんでした。青山先生と関東アコ実行委員の池田さんの2人の講師で、青山先生の初級コースと池田さんの応用コースに分かれました。(私は初級コース)

★初級コース

1日目は楽典(音程、音階、調和音、コード進行など)を学び、2日目は、まず「めだかの学校」「今日の日はさようなら」「世界は2人のために」の3曲から弾きたい曲を選び、先生が各曲のオブリガードや合いの手のつけ方や、アルペジオやコード和音を使った弾き方の例を示し、3、4人のグループになって自分たちだったらどんな伴奏をつけて弾くか相談し、最後に2コース合同の場で発表しました。

★応用コース

楽典、伴奏の役割、リズムの種類や作り方、メロディーを弾かない伴奏などを学び、各自好きな曲に自由に伴奏をつけ、2コース合同の場で発表しました。今までは「めんどろ」だとか「上手くできないから」と講座を聞くだけでしたが、今回は自分に合ったコースでわかりやすく、わかれば「やってみよう」という気になるものですね。何回目かにして初めて「楽譜通り演奏するだけでなく、習ったことを使って少し工夫を入れ、楽しい演奏をしてみたい」気になって

さっそく翌日「どこかで春が」をいじってみました。30名近くの受講生でしたが、「来年もきます！」という人が多かったです。伴奏のためだけでなく、アコーディオンを弾くのに知っておいたほうが良いこと、役に立つことがいろいろありました。夜は交流会、アルコールは飲みきれないほどあり、自己紹介や経験談、講師への質問とかで大いに盛り上がりました。

とにかく、来年は皆さんも参加してみてください。



Q: コードを覚える良い方法は無いか？

A: 近道は無い。◎一つは経験。◎他には、例えば一つのコードを1音ずつ上げていく、ド、ミ、ソ、ド⇒レ、ファ、ラ、レ⇒ミ、ソ、シ、ミのような指の練習をするといい。(池田氏)

A: コードネームと仲良くなること。(青山氏)

□ 3回目の参加になります。今回は青山さんの教室を受けました。発表する前の練習時間がもっと欲しかった。普段老人ホームへ行き演奏することがある。体の動かなかった人が涙を流して歌ってくるとやっついて良かったと嬉しくなります。



感想を話す参加者の様子、その1

□ 昨年からの参加なので2回目です。“おかず”や“合いの手”というのは昨年も聞いて

ていて、今回皆さんの音を聞いて参考になりました。

この講座で、今回も共通した音楽理論が吸収できて、自分のものになればいいなと思います。また、新しい仲間と知り合えてどこかでお会いできればと思います。

□ 1泊2日の講座でしたが、今回は二日目のみの参加です。自己流で練習しているので、年に1度のこの講座は自分の中で励みになっています。

3回目になっても進歩していないので自己嫌悪に陥っています。早く来年の今日が来ないかなあとと思います。



□ 伴奏、ちょっとしたおかずなりが入ることで楽しく歌えることがよく分かりました。

私は、そういうものは曲の中に既に付いているものだと思っていたけど、自分で付けるものだということを知りました。これからは続けて参加したい。

□ 千葉から来ました。アコ暦2年で初参加です。講義を録音したのでそれを聞き返しながら始めてみます。

なんとといっても楽しかったのは交流会、そして2次会、これからは毎回参加します。

□ 地元でやってはいますが、もう少し上手になりたい。それにはどうしたら良いのかを知りたいので参加しました。

□ メロディーが書いてあって、伴奏が書いてあってそれでいいとおもっていた。

少し関心をもってきて、メロディーを弾かないで和音で弾くとか少し望みが湧いてきました。

□ 青山先生の教室の「めだかの学校」のアンサンブルを聴いてこんな優しい曲に

仕上がるなんて新鮮でした。

皆さんの生き生きとした音を聴くことが出来てよかった。もっともっといろんな人と話しをしたかった。

《講師の感想》

□ 昨年青山先生がこの講座に遊びに来て、今年は講師としてやって欲しくないかとお願いしました。大成功だったと思う。

生き生きとしたリズムをつくるってことを勉強して欲しいなと思います。これはジャバラの使い方と関係あるんですが、このことを教えてくれる講座は少ないと思うので是非利用して欲しいと思います。(池田氏)

□ 月に1回でもいいから老人ホームに行って弾いたり、失敗することも含めて生き生きとした演奏している人も評価したいと思う。そういう人たちと交流する機会がないのかなあと思っていた。そういう中でこの伴奏講座を知った。

和音の話しをしても、途中でわからなくなっちゃう人が沢山いる。志は持っているんだからどうやってやるか、そこで初心者コースということで二人(池田さんと)でやればということで参加しました。

今回はグループで話し合い伴奏を仕上げた。講師の意見でこうしようではなく、私は手を出さなかった。みんな潜在力があるなあと考えた。この時間をもう少し増やしてあげたかった。(青山氏)



感想を話す参加者の様子、その2(右から二人目は青山講師)

